



# 10年生向け ACWY型髄膜炎菌ワクチン接種

## 2024年重要な情報

### 学校集団接種に関する同意はオンライン で提出可能

お子さんが10年生の間に学校で通常実施される集団接種についての保護者や後見人の同意はオンラインですることが可能です。

NSW州学校集団接種プログラムについての詳しい情報は [health.nsw.gov.au/schoolvaccination](https://health.nsw.gov.au/schoolvaccination) をご覧ください。

#### 必要な情報

1. サービスNSWのログイン情報
2. 保護者とお子さんのメディケアカードの情報(お子さんのメディケアカードが別の場合)
3. お子さんが2024年に通学する中等学校の詳細

オンラインでの同意は <https://engage.health.nsw.gov.au/engage> をご覧ください。

より詳しい情報は:



# ACWY型髄膜炎菌ワクチン接種

Meningococcal ACWY vaccination

## 保護者向け情報シート

NSW州保健省では、思春期の子供向けに全国保健医療研究審議会が推奨している予防接種を学校集団接種プログラムで提供しています。これを受けるには保護者の署名入り同意書を提出しなければなりません。

### 次のステップ

- この情報シートを注意してお読みください。
- お子さんにACWY型髄膜炎菌ワクチンを接種させたい場合には、オンラインで同意するか、学校から紙面の同意書もらってください。
- お子さんにACWY型髄膜炎菌ワクチンを接種させたくない場合には、同意書を出さないでください。

### 学校の集団予防接種に対する同意はどうやって行いますか

オンラインで同意する場合には、次のものがが必要です。

1. サービスNSWのログイン情報
  2. 保護者とお子さんのメディケアカードの情報(お子さんのメディケアカードが別の場合)
- 保護者やお子さんにメディケアカードがない場合でも、紙面の同意書を使って同意することができます(学校に求めれば、フォームがもらえます)。

### 同意は撤回できますか

保護者の同意は、予防接種実施前であればいつでも撤回することができます。

オンラインで同意した場合には、NSW州保健省の安全なオンライン同意ポータルにログインし、画面上の指示に従って同意を撤回してください。

紙面の同意書を出した場合には、書面もしくは電話で学校に連絡し、生徒の氏名と学年、同意を撤回するワクチンをお知らせください。

### 髄膜炎菌感染症とはどんな病気ですか

髄膜炎菌感染症とはまれながら、髄膜炎(脳や脊髄の膜の炎症)や敗血症(血液中毒)の原因となることが多い重度の感染症です。

髄膜炎菌感染症は非特異的症状を示すことがあり、これには急な発熱や頭痛、首の硬直、関節の痛み、赤紫色の発疹やあざ、明るい光に対する嫌悪感、吐き気、嘔吐などが含まれます。

髄膜炎菌感染者の最高10パーセントは抗生物質で適切な治療を受けても死亡し、生存者も長期の後遺症が残る場合があります。

### 髄膜炎菌感染症はどんな経路で感染しますか

髄膜炎菌は鼻や喉の奥にある唾液を通して人と人の中で感染します。通常は健康な保菌者と長時間密接に接触すると感染します。この長時間の密接な接触とは例えば、同じ家庭での生活やディープキスを指します。髄膜炎菌は人から人へは簡単には感染せず、体外ではあまり長く生存できません。

### ワクチンはどのように作用しますか

ワクチンには免疫系を刺激して一定の病原体を退治させる効果があります。予防接種を受けた人がこの病原体に接触すると、その人の免疫系はより効果的に対応できるため、病気を予防したり、症状を大幅に軽減したりします。

### ACWY型髄膜炎菌ワクチンはどれほど効果がありますか

ACWY結合型髄膜炎菌ワクチンの接種を1回受ければ、この4タイプの髄膜炎菌感染症の予防にたいへん効果的です。ただしこのワクチンはB型髄膜炎菌を原因とする髄膜炎菌感染症の予防にはなりません。

## このワクチンの接種は誰が受けるべきですか

A、C、W、Y血清型髄膜炎菌の感染を予防するワクチンの接種は、中等学校の10年生と集中英語センターに通う15歳から19歳の全生徒が受けるべきです。

## このワクチン接種を受けるべきでないのは誰ですか

次に該当する方々にはACWY型髄膜炎菌ワクチンを投与すべきではありません。

- 以前に髄膜炎菌ワクチン接種後、アナフィラキシー反応を起こしたことがある
- いずれかのワクチン添加物に対してアナフィラキシー反応を起こしたことがある

ジフテリアトキソイドに過敏な人はACWY型髄膜炎菌ワクチンの接種を受けてはいけません。

## アナフィラキシーとは何ですか

アナフィラキシーとは重度のアレルギー反応で、素早く対処しなければ意識を失ったり、死に至る場合もあります。

どんな予防接種でも非常にまれに生じます。学校集団接種の担当看護師はアナフィラキシーの対処について万全の訓練を受けています。

## 子供はACWY型髄膜炎菌ワクチンの接種をすでに受けていると思いますか

12か月のお子さんを対象とするACWY型髄膜炎菌ワクチンは2018年7月から全国予防接種プログラムに含まれています。お子さんが以前に受けたのはC型髄膜炎菌ワクチンだった可能性があります。これが予防するのはC型髄膜炎菌感染症だけです。

特定の疾患（脾臓摘出や免疫不全）をもつ生徒の中には、これまでにこのワクチン投与を受けた人が少数いるかもしれません。この場合にはお子さんに追加接種が必要かどうか、かかりつけ医か専門医に相談してください。

## 子供はすでにC型髄膜炎菌ワクチンを受けていますが、ACWY型髄膜炎菌ワクチンを受けても大丈夫ですか

大半のお子さんは乳児期にC型髄膜炎菌ワクチンを受けています。

一部の国では思春期の追加接種を推奨しており、今回のACWY型髄膜炎菌ワクチンはC型髄膜炎菌に対する追加接種になるだけでなく、A、W、Y型髄膜炎菌感染症の予防にもなります。お子さんによっては2015年から2018年に実施された予防接種キャッチアッププログラム（No Jab, No Pay）の一環としてC型ワクチンを受けているかもしれません。今回ACWY型髄膜炎菌ワクチンを1回を受けても安全です。すべてのタイプの髄膜炎菌からお子さんを最大限に守るためには、接種の間隔を最低4週間あけるようにしましょう。

## ほかにどんな理由でこのワクチンが必要とされますか

このワクチンはメッカ巡礼など髄膜炎菌に感染する可能性の高い旅行や出張を計画されている方にも推奨されています。また微生物研究所の従業員などの一定の職業についている人や、脾臓摘出手術を受けた人など特定の疾患をもつ人にも接種が推奨されています。

## ACWY型髄膜炎菌ワクチンにはどんな添加物が入っていますか

このワクチンにはトロメタモール、スクロース、塩化ナトリウムが入っている可能性があります。添加物がほんの微量含まれているのは、ワクチンの作用促進や保存剤としての効果のためです。

## ワクチンはどれほど安全ですか

オーストラリアで使われているワクチンは安全で、医薬品管理局（TGA）から使用許可を受ける前に安全性に関する厳しい検査に通らなければなりません。これに加え、使用開始後もTGAがワクチンの安全性の監視を行っています。

## ACWY型髄膜炎菌ワクチンの予防接種にはどんな副反応がありますか

副反応は通常軽度で、発熱、頭痛、めまいや、注射をしたところが赤くなったり、痛んだり腫れたりすることがあります。注射をしたところのこうした症状は普通、2～3日でなくなります。重度の副反応は非常にまれです。

副反応についてのさらに詳しい情報は、このワクチンに関する消費者向け医薬品情報（CMI）を [www.health.nsw.gov.au/schoolvaccination](http://www.health.nsw.gov.au/schoolvaccination) でご覧ください。

予防接種を受けた後のお子さんの副反応について心配な方は、かかりつけ医に相談し、最寄りの公衆衛生課（Public Health Unit）にも報告してもらってください。

## 妊娠している、あるいは妊娠しているかもしれないと思う女生徒がこのワクチンの接種を受けてもいいですか

いいえ。妊娠している、または妊娠しているかもしれないと思う女生徒は、このワクチンを受けるべきではありません。集団予防接種日には、妊娠している、あるいは妊娠している可能性があるかどうかについて、予防接種を行う看護師が女生徒に尋ねます。お嬢さんがこの質問にはいと答えた場合には、お嬢さんには接種は行われません。お嬢さんはこの問題について保護者と直ちに話し合い、医者に行くよう強く勧められます。またアドバイスとサポート、ガイダンスが受けられ、他の医療従事者への紹介も受けられる保健相談サービスの連絡先もお嬢さんにお知らせします。

## 子供がぜんそく持ちで、「パファー」でコーチゾンやプレドニゾンを服用している場合はどうすればいいですか

ACWY型髄膜炎菌ワクチンは、服用中の薬にかかわらず、ぜんそくの方に投与しても安全です。



### 看護師訪問時に病気や欠席で子供がワクチンの接種を受けられなかった場合にはどうすればいいですか

学校の集団接種を受けなかった場合には、できるだけ早く代わりの接種を受けるべきです。かかりつけ医か薬局で接種の手配をしてください。<sup>o</sup>

### 予防接種の記録はどうやってもらえますか

お子さんの予防接種についての情報は、オーストラリア予防接種登録簿 (AIR) にアップロードされ、お子さんの既存の予防接種歴と結びつけられます。

お子さんの AIR 予防接種歴明細表については、次のいずれかの方法でお子さんが14歳になるまでは保護者が、14歳以上の生徒の場合には本人がそのコピーを求めることができます。

- myGov [my.gov.au/](http://my.gov.au/) にあるメディケアのオンラインアカウントを利用する
- [servicesaustralia.gov.au/express-plus-mobile-apps](http://servicesaustralia.gov.au/express-plus-mobile-apps) からアプリ Medicare Express Plus を利用する
- AIR の一般お問い合わせ番号  
**1800 653 809.**

### 子供の情報はどうなりますか

予防接種同意書に記入された情報は、NSW 州法と連邦法の定める厳しい守秘義務とプライバシー保護の対象となります(添付のプライバシーステートメント参照)。この情報はお子さんの既存の予防接種歴と結びつけるために NSW 保健省予防接種登録簿に入力され、オーストラリア予防接種登録簿 (AIR) にもアップロードされます。同情報は MyGov でご覧いただけます。

### 学校の集団予防接種についてもっと詳しい情報を知りたい場合には、どこに問い合わせればいいですか

詳しい情報は次の方法で入手できます。

- NSW 州保健省のウェブサイト [www.health.nsw.gov.au/schoolvaccination](http://www.health.nsw.gov.au/schoolvaccination) をチェックする
- **1300 066 055** に電話をして最寄りの公衆衛生課に問い合わせる

## ACWY型髄膜炎菌ワクチン接種同意書

保護者をご記入ください。黒か青のペンを使って大文字でご記入ください。

### 1. 生徒の詳細

氏

名

生年月日

 /  /     

性別

 男  女  不確定/中性/不明

学年

学校名

メディケア番号

       
 メディケアカードのお子さんの名前の横にある番号

### 2. 先住民かどうかについて

 いいえ  はい、アボリジニです  はい、トレス海峡諸島民です  はい、アボリジニであり、トレス海峡諸島民でもあります

### 3. 保護者 (親または未成年後見人) の詳細

ACWY型髄膜炎菌ワクチンの利点と生じる可能性のある副反応についてまとめられた情報を読み、この内容を理解しました。

ここに上記の私の子供がACWY型髄膜炎菌ワクチンの接種を一回受けることに同意します。

私の知る限り、私の子供が次の通りであることに相違ありません。

- どのワクチンに対しても、アナフィラキシー反応を起こしたことがない。
- 同封の「保護者向け情報シート」に記載されているどのワクチン成分に対しても、アナフィラキシー反応を起こしやすい過敏体質ではない。
- 妊娠していない。

保護者名 (例: JOHN SMITH)

住所 (例: 5 SMITH LANE)

サブurb名

郵便番号

携帯電話番号

代わりの電話番号 (局番も記入。例: 02)


メールアドレス

保護者署名

日付

 /  /

# ACWY型髄膜炎菌 ワクチン接種記録

 保護者をご記入ください。(次の詳細はメディケアカードにある詳細と一致しなければなりません)

生徒名 (例: JANE SMITH)

## 事務局記入欄

腕  左 ワクチン投与時刻 (24 時間表記) ワクチンバッチ番号  
 右

看護師署名 日付  
x / 20

## 看護師記入欄

予防接種を行わなかった理由

- 欠席
- 拒否
- 体の調子がすぐれない
- 署名なし
- 同意撤回
- その他

# ACWY 型髄膜炎菌ワクチン接種記録 保護者用

## ACWY 型髄膜炎菌ワクチン接種記録

 保護者をご記入ください。

生徒名 (例: JANE SMITH)

## 事務局記入欄

腕  左 ワクチン投与時刻 (24 時間表記) ワクチンバッチ番号  
 右

看護師署名 日付  
x /

## 予防接種後にすべきこと

- 後日、この情報の提供を求められる場合がありますので、この予防接種記録は保管しておいてください。
- お子さんの予防接種についての情報は自動的にオーストラリア予防接種登録簿(AIR)にアップロードされます。ワクチン接種日をかかりつけ医に知らせておくとうれいでしょう。

## 注射を受けたところに副反応が生じた場合の対応

- 予防接種を受けた場所に湿らせた冷たい布をあてて、痛みを緩和する。
- 痛み止めにパラセタモールを飲む。
- 水分を多くとる。

お子さんに副反応が出て心配な場合には、かかりつけ医に連絡してください。